

“過去は変えられないが

未来は変えられる”

朝集会の時の井上先生の言葉です。覚えていますか？今の 3 年生の先輩が 1 年生の時に井上先生に言われた言葉でしたね。その先輩がこの言葉を覚えていたのは、きっと印象深く心に残り、自分自身に言い聞かせながら過ごしてきたからでしょうね。

この言葉は富木先生が学習面について話されていた内容にも通じるものがあります。今まで提出物が出せていなかったりテスト範囲のワーク類ができていなかったりしていた人も、未来は変えられます。週末にはテスト範囲が配られます。テスト調べや課題に時間がかかる人は、早く取りかかりましょう。その場しのぎで宿題を写させてもらったり、ワークの答えを丸写しで提出したりしていた人も、これからの自分を変えられます。キャリア学習をしている今、将来の自分のために、改める部分があれば変わっていきましょう。

また、井上先生や富木先生の話の中で、先生の話をしっかり聞く、という内容がありました。授業中大事な話を聞き逃している人はいませんか？ということだったと思います。授業に対しての取り組み姿勢で理解度に大きく差がつきます。自分の今の姿勢を見つめてみるのもいいでしょう。

人が不快に思う言動は慎みましょう



細川先生から、最近の気になる言動について話がありました。公共の場である学校で、周囲の人たちが不快に思う言葉をおもしろ半分には発している人たちがいるということでした。心当たりのある人もいるでしょう。また、以前も載せましたが、まだトイレで必要もないのにたむろしている人がいるようです。居心地の良い学年団になるよう、お互いの心遣いを大切にしましょう。

水曜日の体育の授業で素敵な場面を見ました。1, 2 組の男子の自習時間のことです。柔道着を着るのに、身につける順番やひもの結び方に、決まりがあるようで、全員が一斉に身につけられない場面がありました。そんなとき、困っている人たちを数人の人が囲んで、そばで手伝ったり教えたりしてくれているのです。随分時間がかかっていたのですが、一人でできるように根気強くサポートしてくれていました。その光景がうれしくて、黙って見ていました。すると、全員が着用できたら、またみんな静かに座るのです。温かい雰囲気の中で授業が進んでいくのがとてもいいなと思いました。そんな学年がいいですね。

挨拶しっかりできている？

授業の挨拶は大きな声でできていますが、廊下等ですれ違ったときの挨拶が気になります。2, 3 年生はすれ違うときに、よく挨拶をしています。時には「さっきも挨拶したよな。」と言いながら、毎回挨拶をしています。でも、1 年生は、朝、会ったときでも挨拶の声が出ない人がいます。二見はよくあいさつをする学校だと言われているのに、それも今の 2 年生までで、1 年生はできないのか？とまで思うときがあります。全体ではできていることが、一人一人になるとできないというのは考えものです。一人でもきちんと挨拶できる人になりましょう。

